

平成27年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	高齢者生活支援事業						担当部	健康福祉部							
	会計区分	一般会計			事業類型	実施計画事業以外			担当課	地域福祉課						
	事業期間	平成12年度以前			～	平成31年度以降			担当係	長寿福祉係						
	総合計画 分野別計画	主目的	2 保健・福祉		8 高齢者福祉		高齢者の在宅生活を支援します									
		副目的							実施計画対象							
	予算区分	款	3		項	2		目	1		大	3		中	1	
	根拠法令・個別計画	小牧市高齢者外出支援サービス事業実施要綱外11要綱														
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	・高齢者の在宅生活の継続を図る。														
	内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出支援サービス事業 要介護3以上の方にリフト付き車両等の利用料を助成する。</li> <li>・家事援助サービス事業 ひとり暮らし高齢者に家事援助員を派遣し、調理などの軽微な家事援助を行う。</li> <li>・高齢者デイサービス事業 市内の社会福祉法人(3法人、5か所)への委託 給食、入浴、日常動作訓練など</li> <li>・食の自立支援事業 民間の事業者への委託 弁当の調理、配達、安否確認など</li> <li>・訪問理美容サービス 要介護3以上の方に出張理美容サービスを行う。</li> <li>・寝具乾燥クリーニング ひとり暮らし高齢者及び要介護3以上の方に寝具の乾燥クリーニングを年4回行う。</li> <li>・軽度生活援助サービス 高齢者世帯に庭の手入れ等の軽易な日常生活上の援助を行う。</li> </ul> <p>◆26年度直接経費の内訳            外出支援サービス委託料 5,817千円 家事援助サービス委託料 458千円            デイサービス利用委託料 1,310千円 食の自立支援事業委託料 14,277千円            訪問理美容サービス委託料 1,332千円 寝具乾燥クリーニング委託料 678千円            軽度生活援助サービス委託料 820千円 その他消耗品費等 1,528千円            (一般財源以外の財源)            食の自立支援事業利用者負料 7,353千円</p> <p>◆27年度直接経費の内訳            外出支援サービス委託料 6,154千円 家事援助サービス委託料 482千円            デイサービス利用委託料 2,060千円 食の自立支援事業委託料 16,100千円            訪問理美容サービス委託料 1,439千円 寝具乾燥クリーニング委託料 1,024千円            軽度生活援助サービス委託料 667千円 その他消耗品費等 2,848千円            (一般財源以外の財源)            食の自立支援外事業利用者負料外 8,492千円</p>														
	受益者負担	有		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出支援サービス、家事援助サービスは、概ね1割</li> <li>・食の自立支援事業300円/食</li> <li>・デイサービス事業400円/日及び昼食代等の実費</li> <li>・訪問理美容サービス1,000円/回 ・軽度生活支援サービス事業80円/時間</li> <li>・寝具乾燥クリーニング事業200円/枚(掛布団・敷布団)、100円/枚(毛布)</li> </ul>												

コスト	費用			単位	H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27予算額	
		直接経費			千円	25,209	23,234	26,220	30,774
費用	正職員	従事者数	人	0.50	0.50	0.50	0.50		
		人件費	千円	2,630	2,630	2,630	2,630		
	その他職員	従事者数	人	1.00	1.00	1.00	1.00		
		人件費	千円	1,106	1,051	1,158	1,276		
費用合計				千円	28,945	26,915	30,008	34,680	
対前年比				%		92.9	111.4	115.5	
財源	一般財源				千円	21,405	18,803	22,655	26,188
	国・県支出金				千円	0	0	0	0
	その他財源				千円	7,540	8,112	7,353	8,492

業	活動指標名	単位		H24	H25	H26	H27
	利用者数 (外出支援サービス)	人	目標		150	185	200
実績				185	198	224	
利用者数 (食の自立支援)	人	目標		400	300	255	270
		実績		295	254	264	
利用者数 (寝具クリーニング)	人	目標		80	80	80	80
		実績		71	86	76	
績	成果指標名	単位		H24	H25	H26	H27
	延利用回数 (外出支援サービス)	回	目標		950	1,165	1,200
実績				1,165	1,194	1,255	
延利用配食数 (食の自立支援)	食	目標		37,400	28,800	25,100	25,000
		実績		27,443	25,052	24,658	

事業の自己評価	平成26年度の実施結果	事業の達成状況	各事業を利用する者に対し、サービスを実施することができた。				
		事業実施における課題	高齢者数が増えることから、事業の見直しやサービスの対象者の見直しが必要である。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	高齢者の在宅生活の継続を支援できないので、安心した在宅生活に支障をきたす恐れがある。				
	平成27年度の改善内容	27年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	平成29年度から実施する総合事業に移行を予定している家事援助サービス事業及びデイサービス事業について、介護保険の制度改正にあわせ、利用者負担の変更をする。				
平成28年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)				
	判定理由	今後の高齢社会において、高齢化率の伸びや住み慣れた地域社会の中で引き続き生活することを支援するために必要であると考えます。					
	28年度以降の改善案	今後も高齢者数が増えることから、事業の見直しや所得制限を設けサービスの対象者の見直しを図る。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。 今後、高齢化が進む中で対象者の増加が見込まれる場合は、将来的な対象者数や需要予測をする中で、対象者の基準の見直しを行うこと。また、地域の見守り機能など中長期的な課題について、検討を行うこと。